

大歳じんけんだより



発行 大歳地区人権学習推進協議会
(大歳地域交流センター内)
TEL 922-4035 FAX 922-4036

～みんなで作ろう 明るく住みよい おおとしを～

このスローガンは、大歳の皆さんの身近にあります。住みよいとは、どんなことでしょうか。私はこう思います。

「人がお互いに認めあう」という地域になれば、どんなに暮らしやすいことでしょうか。自分の存在が認められれば、人にも優しくなれるでしょう。そして人とのつながりが広がり、深まることになります。

「人は人との関わり合いの中で生きている」という事実をしっかりと受け止め、自分は何をしたらいいのかを一人ひとりが考え、行動できる大歳の皆さんであってほしいと願います。

共に歩んでまいりましょう。

大歳地区人権学習推進協議会 会長 吉富 崇子

鴻南中学校で人権学習講演会を実施しました！

令和元年11月16日(土)、保護者や地域の方々を交え人権にかかわる授業と講演会を行いました。今年度は、『自他を尊重し、互いに理解し合う心を育てる』をテーマに学習を展開しました。

1 各学年の公開授業

- (1) 【1年生】魚の世界で起こるいじめに関する物語から、魚と人間のいじめにある共通点、そして人間だけにできるいじめの解決方法について話し合い、いじめが起こらない社会を作るために大切なことを考えました。また、小泉吉宏さんの詩『一秒の言葉』から、普段使っている言葉は、人とのつながりを強くする反面、つながりを切ってしまうことがあることに気づかせ、言葉の使い方を考えました。
- (2) 【2年生】インターネットの交流サイトへの何気ない書き込みから、友達と行き違いがおこるといふ物語を通して、自分の行動や言葉に責任をもつことの大切さについて考えました。
- (3) 【3年生】ルワンダ内戦で負傷した人々を支援するプロジェクトを立ち上げた吉田真美さんらの活動から学び、話し合うことで、国際理解・国際協力において大切なこと、だれもが過ごしやすい社会にするために大切なことについて考えました。
- (4) 【特別支援学級】各学年・クラスの様子に応じた内容を学習し、自分とは違う立場について考えたり、自分を振り返ったりすることで、思いやりをもって人と向き合うことの大切さについて考えました。

つづく

2 教育講演会

リオデジャネイロパラリンピック銀メダリストの木谷隆行選手と、国内A級ボッチャ審判員の武居ひとみさんに、『じんけんボッチャ講演会』という演題でご講演いただきました。生徒の手による運営のもと、木谷選手とのボッチャ体験やQ&Aコーナーなどを行い、楽しみながらも、学びの多い講演会となりました。



【 講演後の生徒の感想 】

ボッチャ競技のことはテレビで見たことがありましたが、ルールや競技内容についてはよく知りませんでした。障害のある方、ない方が一緒になって楽しくプレーする姿に思わず見入ってしまいました。

ボッチャ競技は、すべての垣根を越えて誰でもできる素晴らしいスポーツです。スポーツの力を通して、障害のある方たちがより豊かに過ごせること、また、障害のあるなしに関わらず、より深くコミュニケーションをとっていくことがとても重要だと思います。

社会の中で、障害のある方たちが、どのようなところでバリアを感じて不自由な思いをされているかをまず知り、そしてよりよく生活するためにはどうすればよいかを共に考えていきたいです。



大歳小学校で人権学習講演会を実施しました！

人権教育講演会 ～落語と歌をとおして～ 10/18(金)

大歳小学校では、人権教育参観日に、佐々木真人先生（宇部市浄土真宗西光寺 ご住職）を講師としてお招きし、5・6年生の子どもと保護者の方を対象に「生まれてきた命」と題して講演をいただきました。

この日は、独学で学ばれた落語（芸名：カンチューハイ角照）と歌を中心としたお話で、「寿限(じゅげ)無(む)」「くもの糸」「セロ弾きのゴーシュ」を披露されました。



この三つの落語をとおして、

「一人ひとりに付けられた名前の大切さ」

「失敗は誰にでもある。失敗は決してだめなことではない」

「誰でも可能性を信じれば、よい方向にかえることができる」

というお話をされました。



先生ご自身の豊富な経験に裏打ちされたお話と軽妙な語り口、初めて聞いたであろう落語の魅力にひかれ、あっという間に時間が過ぎました。

人権教育は、「一人ひとりがかげがえのない尊い生命の主体者である」という人間尊重を基本的な考え方としています。これからも一人ひとりを大切に、子ども達の自己肯定感を高めるようにみんなが心がけていきたいと思っています。

講演会に参加した全員が、ご住職の落語や音楽に引き込まれ、温かい気持ちで自分を認め他者と共に助け合って生きていきたいと、自然にそう感じられた講演会でした。



次のページで、講演会に参加された保護者の感想をご紹介します。寿限無寿限無...



保護者アンケートより

- ・住職のお話は、子どもにも大人にも分かりやすく、面白く、心に残りました。人権という
と構えてしまいがちですが、歌や落語を聞いて住職の方の生き方や考え方に触れることも
でき、勇気をもらったように思いました。
- ・落語を聞く機会は今までにあまりなかったので、新鮮で貴重な時間を過ごすことができま
した。落語の話と関連付けて、「自分が愛されていること」「自分は変わること」など、
大切なことを教えていただき、勉強になりました。話も楽しく、子どもたちにも理解しや
すかったのではないかと思います。
- ・人生の大先輩から様々なお話を聴くことができたので、保護者も含め良い刺激を得ること
ができたように思います。特に、「いろいろな経験をすることで、そこからプラスの相乗
効果が生まれる。」というお話には感服いたしました。それと、何にしても「ダメなこと
はない。」という肯定的なイメージを子どもたちに熱く届けてくださったことにも感謝し
ています。ありがとうございました。
- ・人権という堅苦しい感じではなく、だめな人などいない、みんながそれぞれ楽しんで生き
ていってほしいという思いが伝わってきました。
- ・笑いありの講演で楽しく過ごせました。「人は助け合っていく」「一人じゃない」家族・
友人・同僚・様々な人たちと楽しく付き合っていきたいと思いました。

